Panasonic

特定小電力

10mW 9チャンネルFMトランシーバ

品番 **RJ-PX10**

取扱説明書

保証書別添

■取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは パナソニック 10mW FMトランシーバ RJ-PX10をお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

本機の特長

雑音を低減

……………………………**高感度設計**

他人に会話を聞かれない

……………………**シークレット機能**

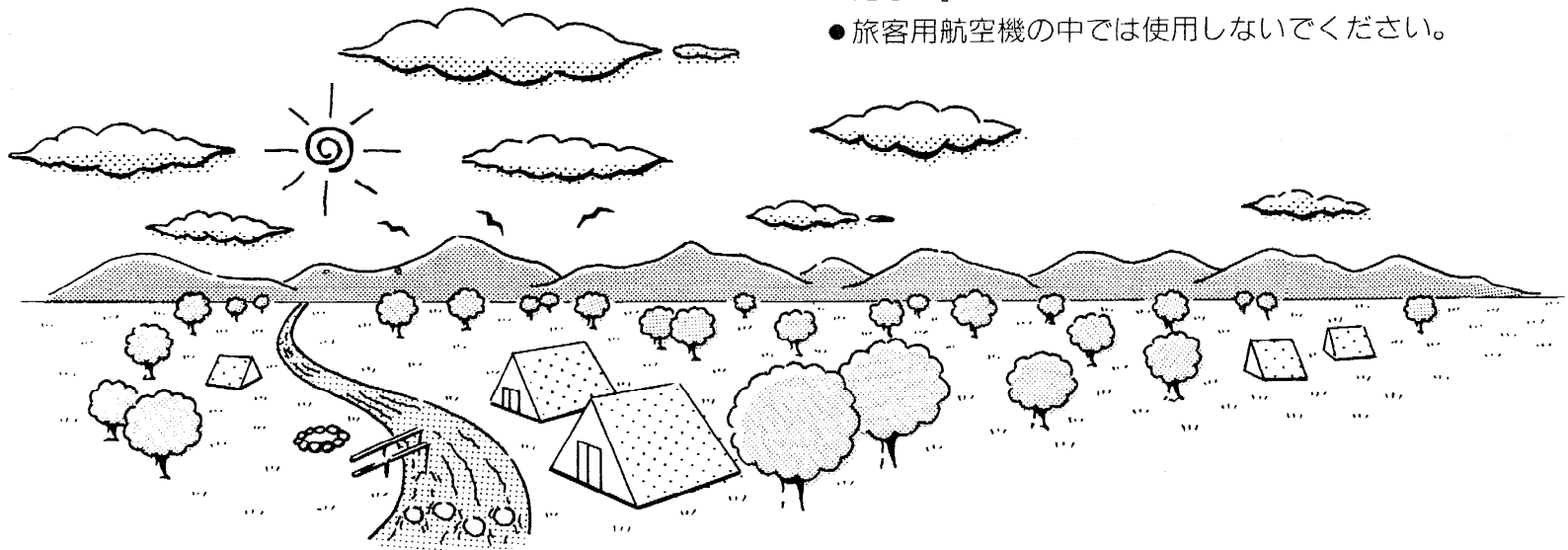
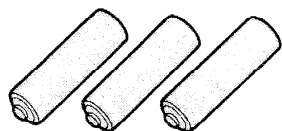
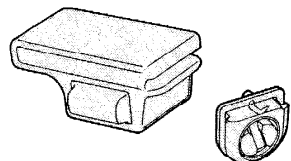
特定の相手の状態を確認しながら通信

…………………………**呼び出し機能**

免許は不要です

本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、お求めになったその時からすぐにご使用いただけます。

電波法を守ってご使用ください

- 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用したり、分解や改造することは法律で禁じられています。
- 本機の使用は日本国内に限られます。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり、窃用(せつよう)しないでください。
- 旅客用航空機の中では使用しないでください。

付属品

単三形乾電池
(3本)

ベルトクリップと
アタッチメント

ハンドストラップ

ソフトケース

目次

前　面
アンテナ
360°回転します
P 8
電源/音量つまみ
P 12
Panasonic
操作ボタン
P 5
ディスプレイ/表示
P 5
MIC(マイク)
ここに向ってお話しください。
P 13
スピーカ
P 13

後　面
ここにハンドストラップ(付属)を取付けます。
DC IN 4.5V
(外部電源)端子
P 24
SP/EP EXT. MIC(スピーカ/マイク) 端子
P 24
外部機器を接続しないときは、カバーをきちんと閉じてください。
OPEN
ベルトクリップアタッチメント取付け部
P 9
技術基準適合証明ラベル
はがさないでください。
P 2
電池ふた
P 6

操作ボタン

ディスプレイ/表示

乾電池の入れかた

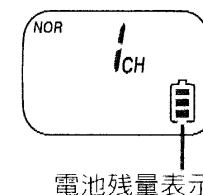
1 電池ふたを開ける

2 乾電池を入れる

電池残量表示について

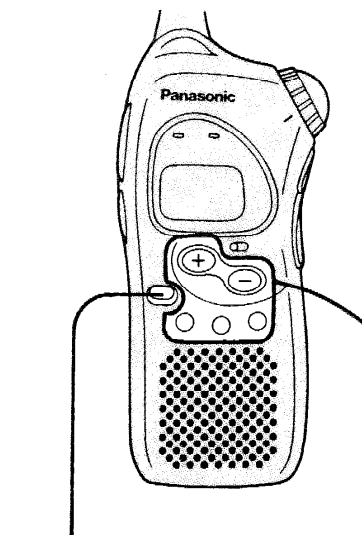
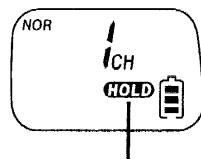
電源を入れると電池の残量が表示され、
電池交換が必要になると点滅します。

電池が消耗してくると

(電池交換してください)

電池を交換するときは、まず電源を切ってからにしてください。

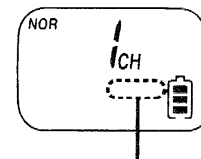
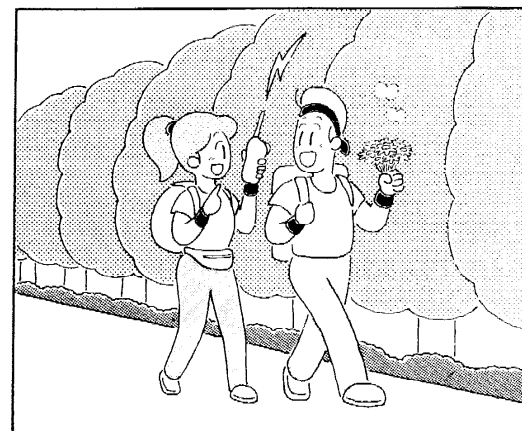
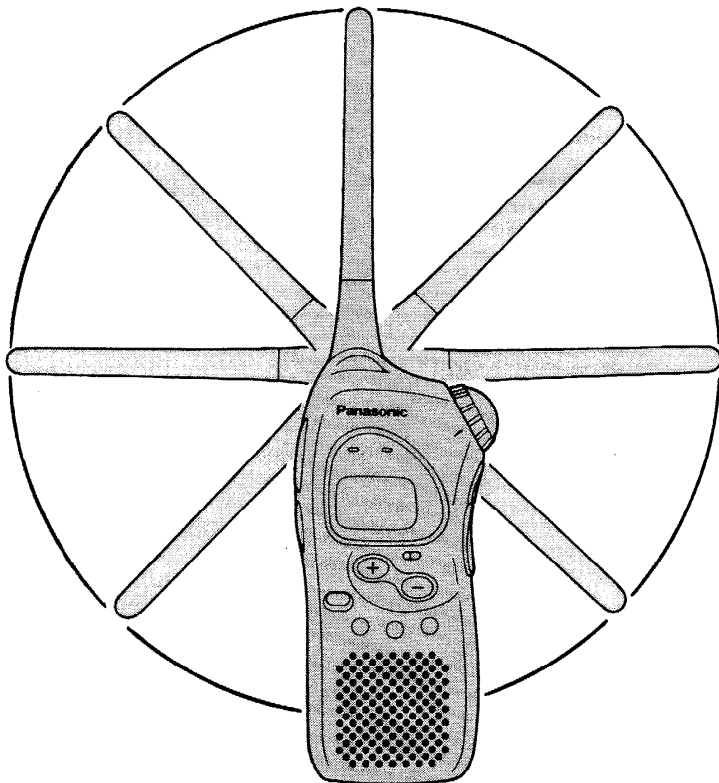
乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- 乾電池は充電式ではありません。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱などしないでください。

ホールド状態について

誤操作を防ぐための機能です。
ホールド状態でも通信することはできますが、チャンネルをかえるなどのボタン操作ができません。
これらの操作をする前に、必ずホールド状態を解除してください。

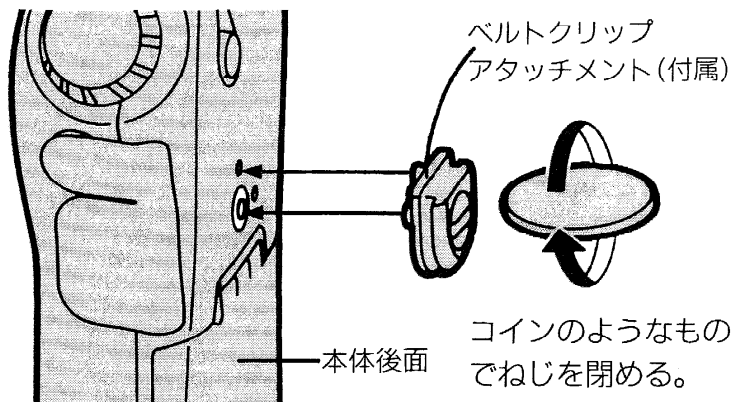
チャンネルやコールナンバーの設定がおわったら、ホールド状態にしておくことをおすすめします。

ホールド状態を切換えるには

電源を入れてから操作してください。

アンテナのたてかた

アンテナは8か所でとまります。
通常は、アンテナを垂直にしたときもっとも感度がよくなります。
通信中にアンテナに手を触れたり、体に密着させていると通信距離が短かくなります。
ベルトに取付けて使うときは、アンテナ先端が体から離れるよう調節してください。

ご注意：
ベルトクリップアタッチメントを本体に取付けてあるときは（P9）それ以上回転しませんのでご注意ください。

ベルトクリップを使うには

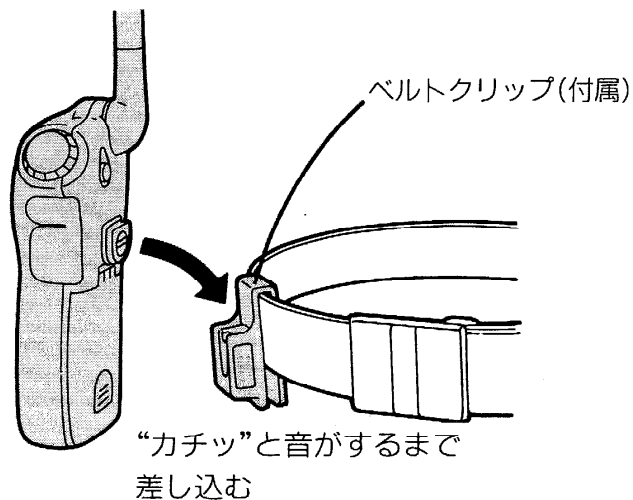
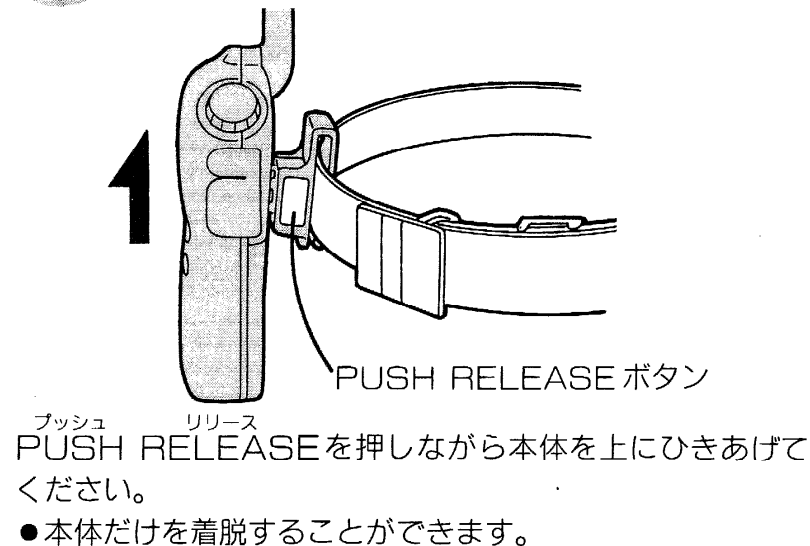
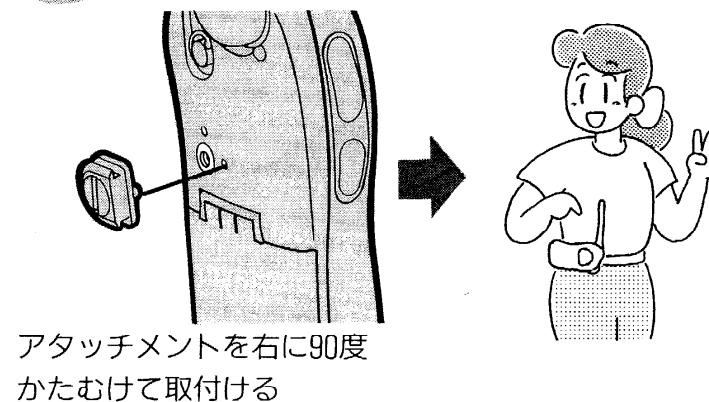
1 ベルトクリップアタッチメントを本体に取付ける

2 本体をベルトクリップに取付ける

とりはずすとき

PUSH(プッシュ) RELEASE(リリース)を押しながら本体を上にひきあげてください。

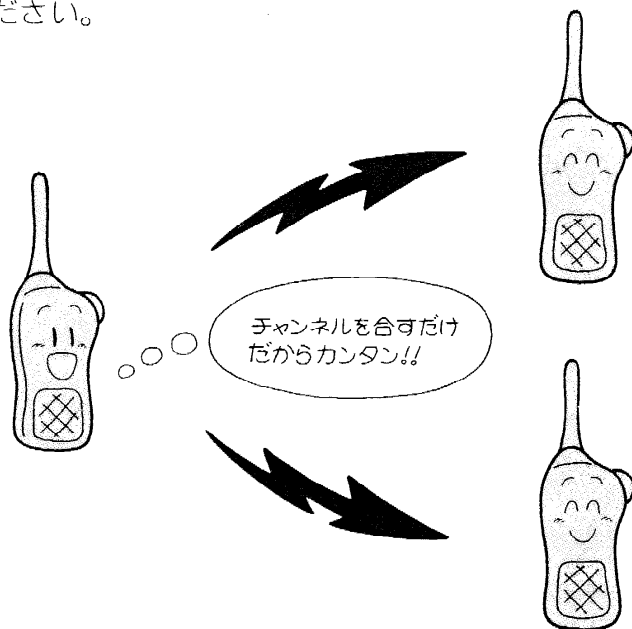
- 本体だけを着脱することができます。

本体を横向きにして取付けることもできます。

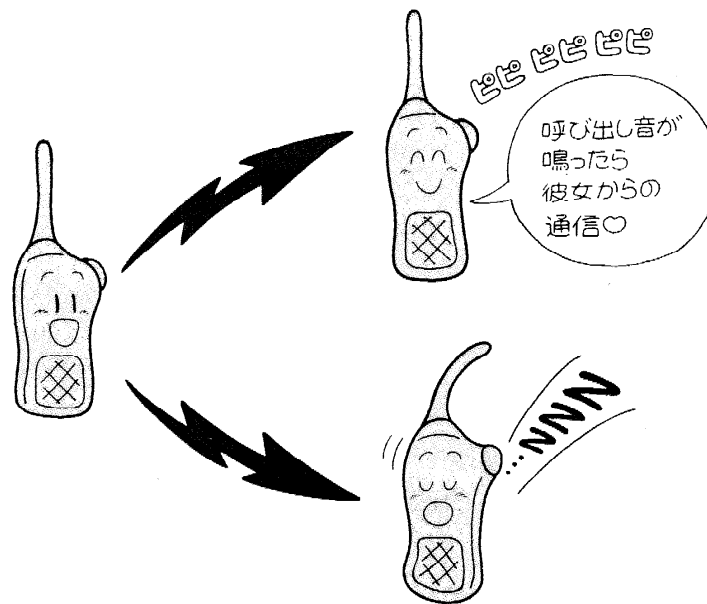
アタッチメントを右に90度かたむけて取付ける

通信方法の種類について

通信モードを切換えて、いろいろな通信ができます。

通常はこのモードでの通信をおすすめします

- チャンネルを合わせるだけで通信できます。
- 同じ周波数チャンネルを持つ他の特定小電力トランシーバとも通信できます。
- 相手に一方的に話す場合は、このモードを使用してください。

通信モード NOR(ノーマル)モード ⇨「基本の通信」P 12

電話のように特定の相手を呼び出すとき

- チャンネルとコールナンバーを決めておけば、相手を確認してから通信できます。
- 二人で通信するときに便利です。
- RJ-PX10以外の機種とは呼び出し通信できません。

通信モード CALL(コール)モード ⇨「呼び出し通信」P 16

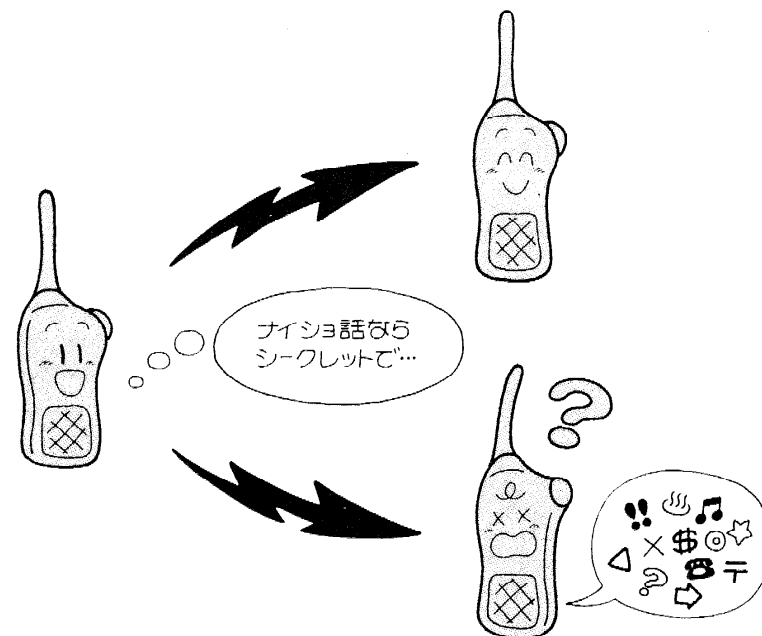
呼び出す相手を次々にかえて通信するとき

- チャンネルとコールナンバーの組合わせを登録できます。
- メモリー番号を切換えるだけで、呼び出す相手をかえることができます。
- 登録できる組合わせは5種類までです。

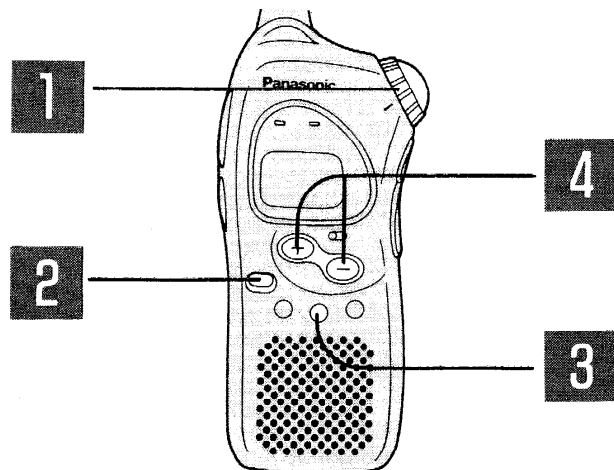
通信モード M(メモリー)モード ⇨「メモリー通信」P20

さらにシークレット通信にすると

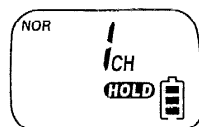
他の人には会話の内容が分かりません

- どの通信モードにしていても使えます。

⇨「シークレット通信」P22

基本の通信

電源を入れて、チャンネルを合わせる

1 電源を入れる

つまみを右にまわす

ディスプレイが点灯します。

2 ホールドを解除する

長押しするごとに

ホールド ⇄ 解除

と切換わります。

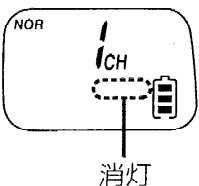
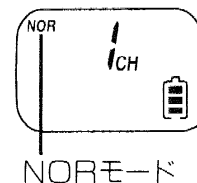
消灯

3 通信モードをNOR（ノーマル）にする

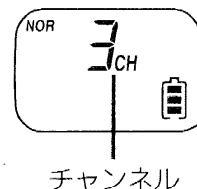
長押しするごとに

NOR（ノーマル）→CALL（コール）→M（メモリー）

と切換わります。

NORモード

4 チャンネル（周波数）を合わせる

チャンネルは1から9まであります。

- 通信相手と同じチャンネルにしてください。
- ボタンを押しつづけると連続して数字がかわります。

チャンネル

ご注意：

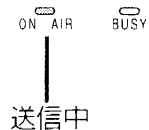
他の人が使用しているチャンネルに合わせると、混信したり、うまく送信できません。（この場合、チャンネルを合わせると、すぐにBUSY表示が緑色に点灯します。P13）このようなときは、⊕,⊖ ボタンを押して空いているチャンネルを探してください。

送信するには

受信したら

(BUSYが消灯しているとき)

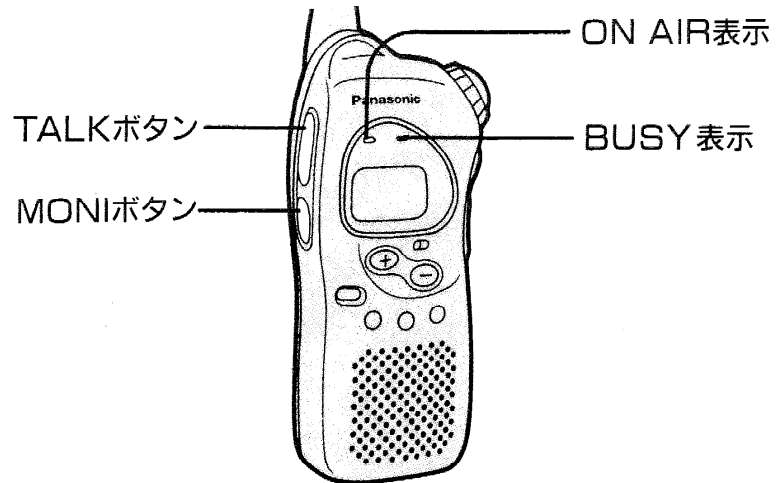
TALKを押しながらマイクに向ってお話しください。

- 口元との距離は5cmぐらいが適当です。
- 近すぎると声がひずみ、離れすぎると聞こえにくくなります。

TALKを押すとON AIRが赤く点灯します。BUSYが点灯しているとき(受信中)にTALKを押すと"ピピピ"と警告音が鳴り送信できません。

電波を受信するとBUSYが緑に点灯し、スピーカから相手の声が聞こえます。

- 音量つまみで音量を調節してください。

電波を受信すると、音声信号がなくてもBUSYが点灯します。

- BUSYが消灯したら、こちらから送信できます。

相手の声が聞きとりにくいときは

受信音が途切れて聞きとりにくいときはMONIを押してください。雑音に混じって音声が聞こえることがあります。

● もとに戻すには、もう一度MONIを押してください。

30秒以上続けて送信はできません

送信時間が25秒を過ぎると"ピ"と警告音が鳴り、ON AIRが点滅します。30秒を過ぎると"ピピピ"と警告音が鳴ってON AIRが消灯し、送信できなくなります。

● その後2秒間は送信できません。

● 続けて送信するときは、一度TALKボタンをはなし、もう一度押してください。

ご注意：

非常に近くで通信している人がいると、チャンネルが違っていても電波が混信することがあります。

ヘッドセット（別売り）をご使用のときは、「基本の通信」をおすすめします。

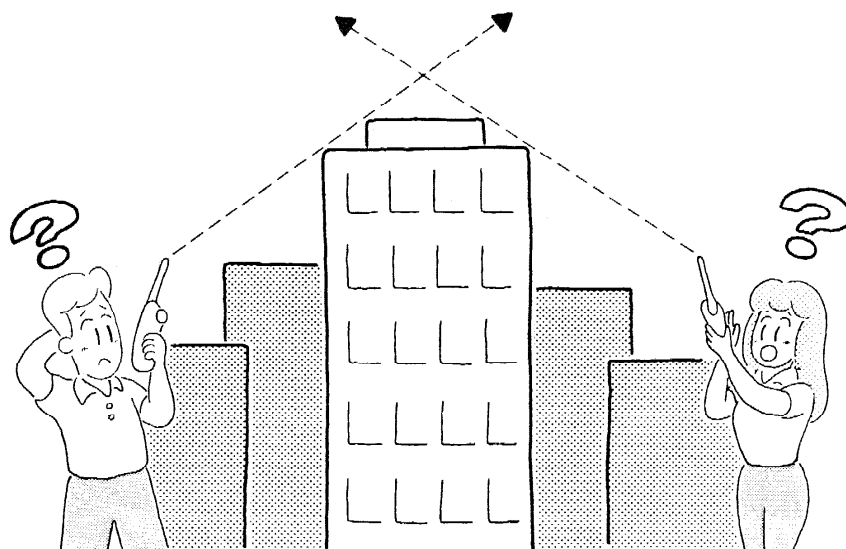
電波のとどく距離は、場所や環境によってことなります

距離のめやす

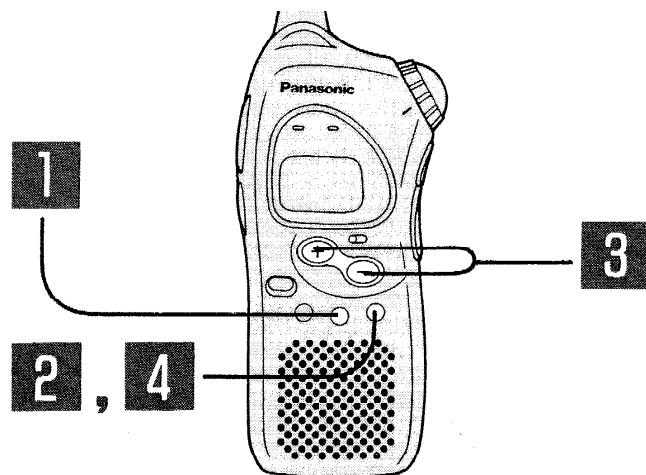
市　街　地	100～200m
見通しのよい所	1.5～3km

● コンクリートの壁や自動車など金属物体の周囲では通信距離が短かくなります。

使用後は

電源/音量つまみを左に回して電源を切ってください。

呼び出し通信

同じチャンネルとコールナンバーを設定した相手とだけ呼び出し通信できます。コールナンバーは、相手を呼び出すための暗証番号のようなもので、番号が通信相手と一致したときだけ通信を開始します。

コールナンバーを設定するには

●電源を入れて、ホールドを解除してから操作してください。

1 通信モードをCALL（コール）にする

MODE

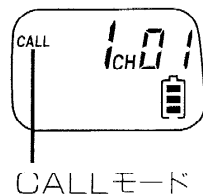
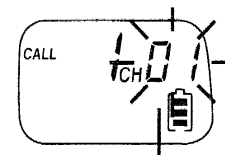
長押しするごとに

NOR（ノーマル）→ CALL（コール）→ M（メモリ）

とかわります。

2 設定の開始

ENTER

長押し

コールナンバーが点滅します。（10秒間）

3 コールナンバーを選ぶ

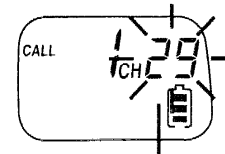
⊕ ⊖

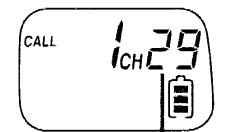
1から99のうちから選べます。

通信相手と同じコールナンバーにしてください。

4 設定の終了

ENTER

押す

"ピピ"と音が鳴りコールナンバーが点灯にかわります。

CALL 1 CH 29

点灯

●途中で間違えたときは、10秒待ってからやり直すか、一度電源を切ってください。

●通信中（TALK表示中 P 18）は、コールナンバーの設定ができません。

▼

設定が終わったらチャンネルを合わせて（⊕,⊖ を押します）通信してください。 P 17

送信するには

●通信相手と同じチャンネルとコールナンバーになっていますか。

1

通信相手を呼び出す
TALKを1回押して少し待つ（2〜3秒）
押し続けてもかまいません。

2

"ピ" という確認音が鳴ったらTALKを押しながらお話しください。
●通信相手がいないときは"ピピピ"と音が鳴ります。

P 18

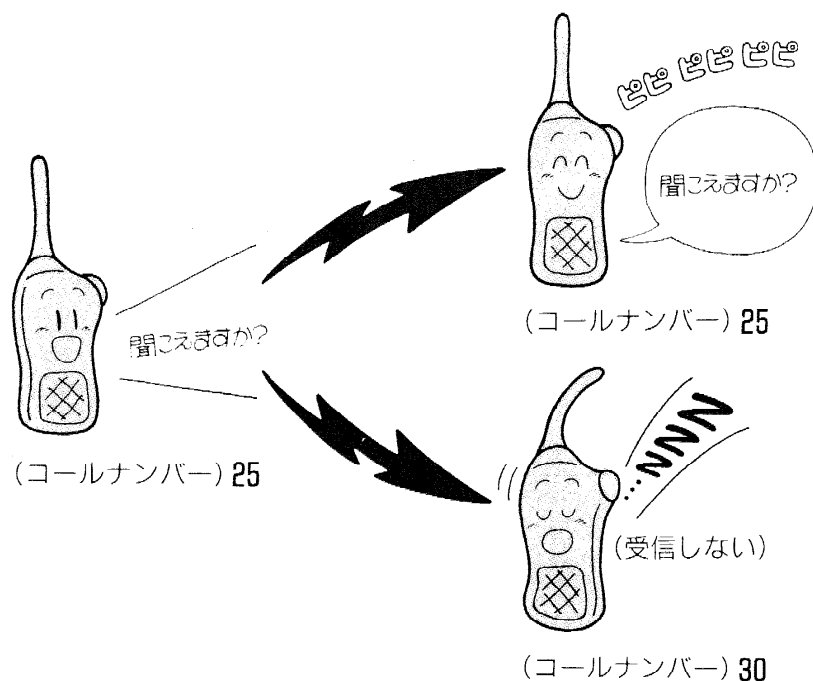
受信したら

●チャンネルとコールナンバーの合った相手からの呼び出しがあると…

"ピピ、ピピ、ピピ"という呼び出し音が鳴ります

スピーカから声が聞こえます
BUSYが点灯します。

コールナンバーが違っているときは

● たとえ同じチャンネルを使っていても

通信相手がいないときは

相手が電源を切っていたり、距離が離れすぎているときは、TALKを押しても、"ピピピ"という警告音が鳴り、通信が開始されません。

呼び出し通信中のディスプレイについて

▶通信の開始

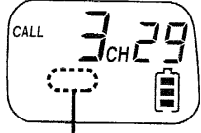
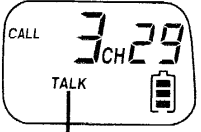
確認音または呼び出し音が鳴りディスプレイの TALK が点灯します。

▶通信中

「基本の通信」と同じように送信や受信ができます。(同じチャンネルを使っている人の電波が混信することもあります。)

▶通信の終了

送信や受信のない状態が10秒以上続くと、ディスプレイのTALKが消えます。

● その後TALKボタンを押すと、呼び出し動作をし、相手を確認すると、再び通信を始めることができます。

呼び出し通信中

ご注意：

呼び出し通信中は、チャンネルやコールナンバーの変更ができません。

会話が終わってすぐチャンネルなどをかえたいときはENTERボタンを長押ししてください。

途中で通信できなくなった!?

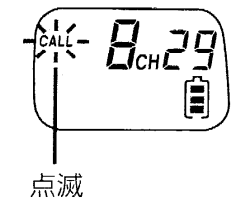
ディスプレイの状態	原 因 は ？	この方法で通信を再開できます
CALL 3CH29 消灯	誤って電源を切ってしまったとき。	MONI **MONIを押す** ●TALKが点灯します。
CALL 3CH29 TALK 点灯	相手側の通信が先に終了してしまったとき。	ENTER **ENTERを長押しする** ●TALK表示が消えます。 その後、TALKを押して相手を呼び出すか、相手からの連絡を待ってください。

ご注意：
相手との距離が離れるおそれのあるとき(車で移動中など)は、「基本の通信」をおすすめします。
呼び出し通信中に電源を切るときは、必ず相手と確認をとってからにしてください。

受信お知らせ表示について

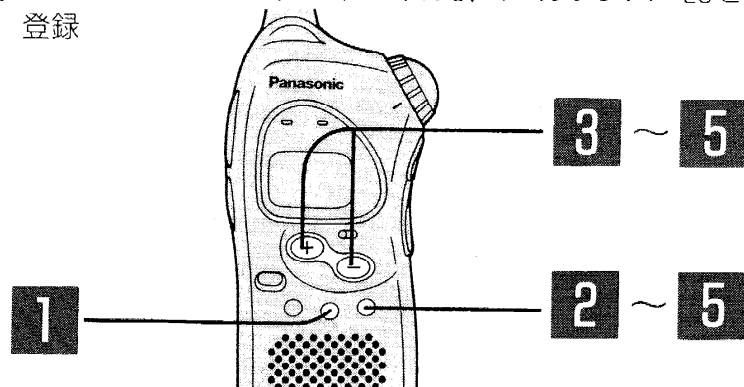
呼び出し音が鳴ると(受信があると)、その後こちらから送信するまでディスプレイのCALLが点滅します。
本機のそばを離れていたときなどに受信があったかどうか分ります。
CALLが点滅していたら折り返し送信しましょう。

点滅

●いずれかのボタンを押すと、CALLの点滅が点灯にかわります。

メモリー通信

メモリー番号の1から5までによく使用するチャンネルやコールナンバーを登録しておくと便利です。

登録するには

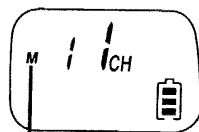
例 メモリー番号の2に、チャンネル6, コールナンバー25を登録

電源を入れ、ホールドを解除してから操作してください。

1 通信モードをM(メモリー)にする

MODE

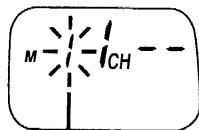
長押しするごとに

NOR(ノーマル) → CALL(コール) → M(メモリー)

と切換わります。

Mモード

2 登録の開始

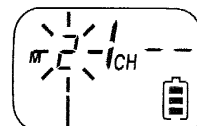
ENTER

長押し

点滅

3 メモリー番号を選ぶ

押して番号を表示させ

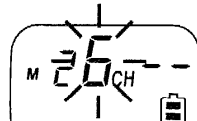
⇩

ENTER 押す

メモリー番号

4 チャンネルを選ぶ

押してチャンネルを表示させ

⇩

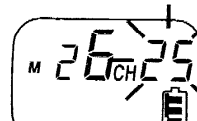
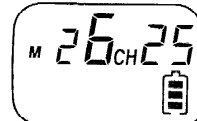
ENTER 押す

チャンネル

5 コールナンバーを選ぶ

押してコールナンバーを表示させ

- コールナンバーは--と01から99まであります。--を選ぶとコールナンバーなしとなります。

⇩

ENTER 押す

- "ピピ"と音が鳴り登録が終了します。

コールナンバー

- 各操作の間隔を10秒以上あけると、登録開始前の状態にもどります。(登録されていません)

ご注意
受信または送信中は、登録できません。電波の混信で登録できないときは、⊕,⊖ボタンを押してメモリー番号をかえるか、アンテナをたたんで受信できなくするなどしてください。

M(メモリー)通信での登録例

⊕,⊖ ボタンを押してメモリー番号を切換えると、それぞれに登録された内容がディスプレイに表示されます。

メモリー番号	チャンネル	コールナンバー	
1	6	09	呼び出し通信ができます。
2	6	25	
3	6	50	
4	2	26	
5	6	--(コールナンバーなし)	基本の通信ができます。

1から4までを選ぶと、それぞれ別の相手と呼び出し通信ができます。P16 ~ P19
5を選ぶと基本の通信ができます。P12 ~ P13

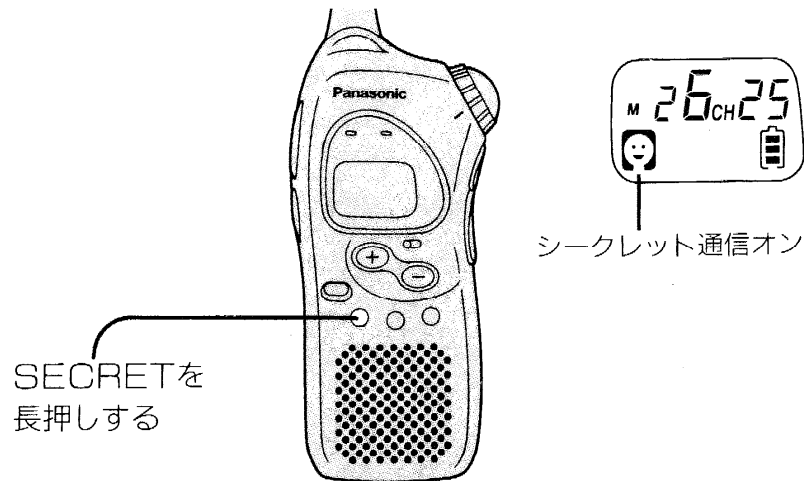
● 例えばスキー場で使う場合

シークレット通信

会話の内容を他の人に聞かれたくないときに便利です。

● どの通信モードにしていてもシークレット通信できます。

シークレット通信をするには

● ホールドを解除してから操作してください。

通信相手側も、シークレット通信をオンにしてください。

● もう一度 SECRET を長押しすると、シークレット通信がオフになります。(通常の通信に戻る)

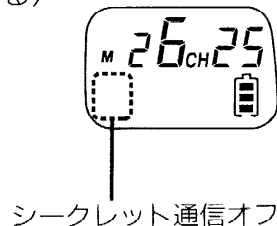
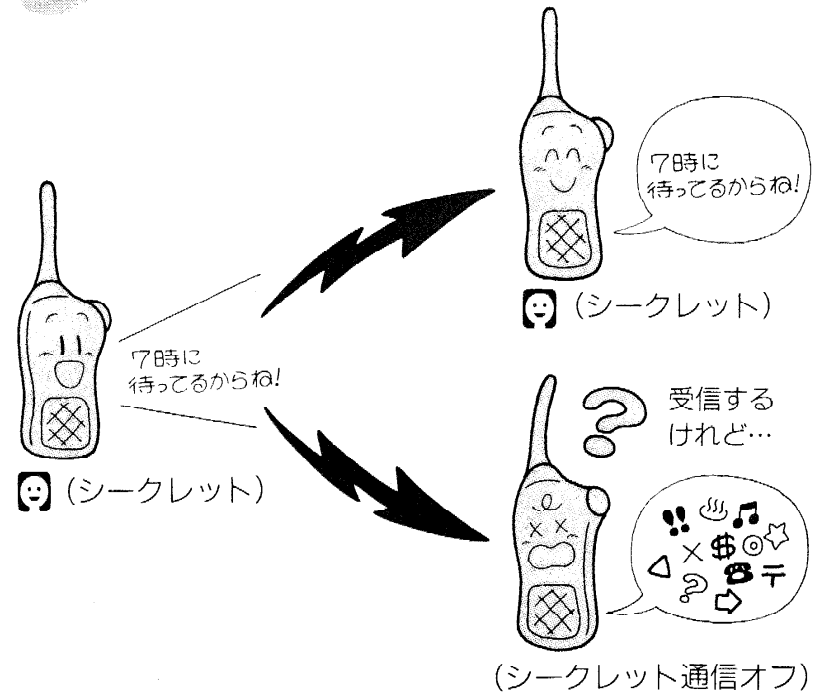
シークレット通信にすると

7時に
待ってるからね!

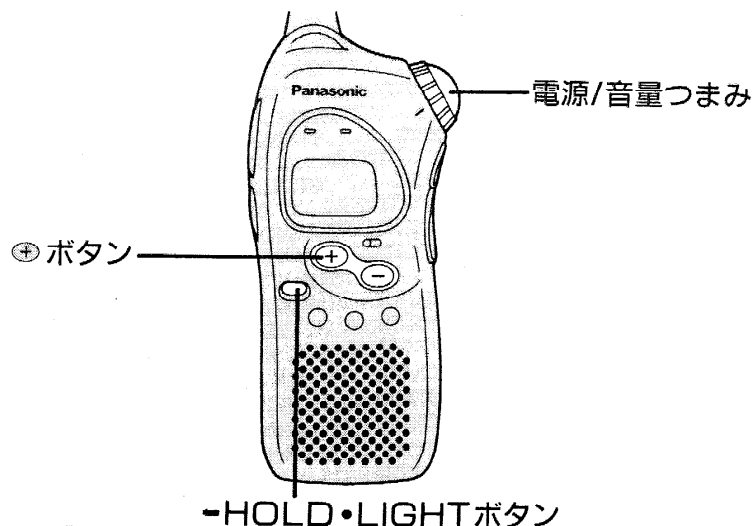
(シークレット)

7時に
待ってるからね!

(シークレット)

受信する
けれど…

(シークレット通信オフ)

ご注意：

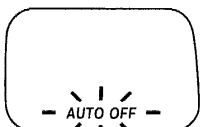
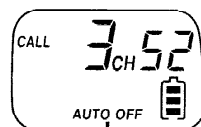
同じチャンネルでシークレット通信している人が他にいれば、その人には会話の内容が分かります。

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎます（オートオフ）

通信をしない状態が1時間以上続くと、自動的に電源が切れます。

⊕を押しながら電源を入れるたびに、オートオフ機能のオン/オフを切換えることができます。

オートオフ

- オートオフ機能によって電源が切れるとディスプレイのAUTO OFFが点滅します。（電源が切れています）
  使用するまえに電源/音量つまみを回して、電源を入れなおしてください。

点滅

暗い場所で使用するとき（ディスプレイライト）

━HOLD•LIGHTをポンと押すと、ディスプレイが5秒間、明るくなります。
次の操作をしている間はライトが点灯し続け、操作を終えると5秒後に消えます。

- 通信モードやチャンネルの切換え
- コールナンバーの設定
- メモリーの登録

登録したメモリー通信の内容は電池を取り出しても大丈夫

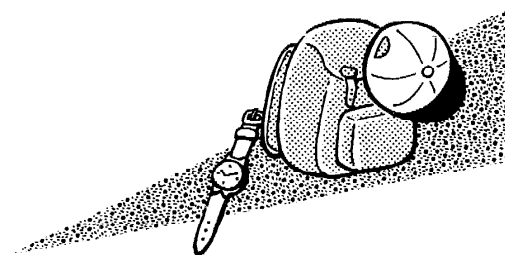
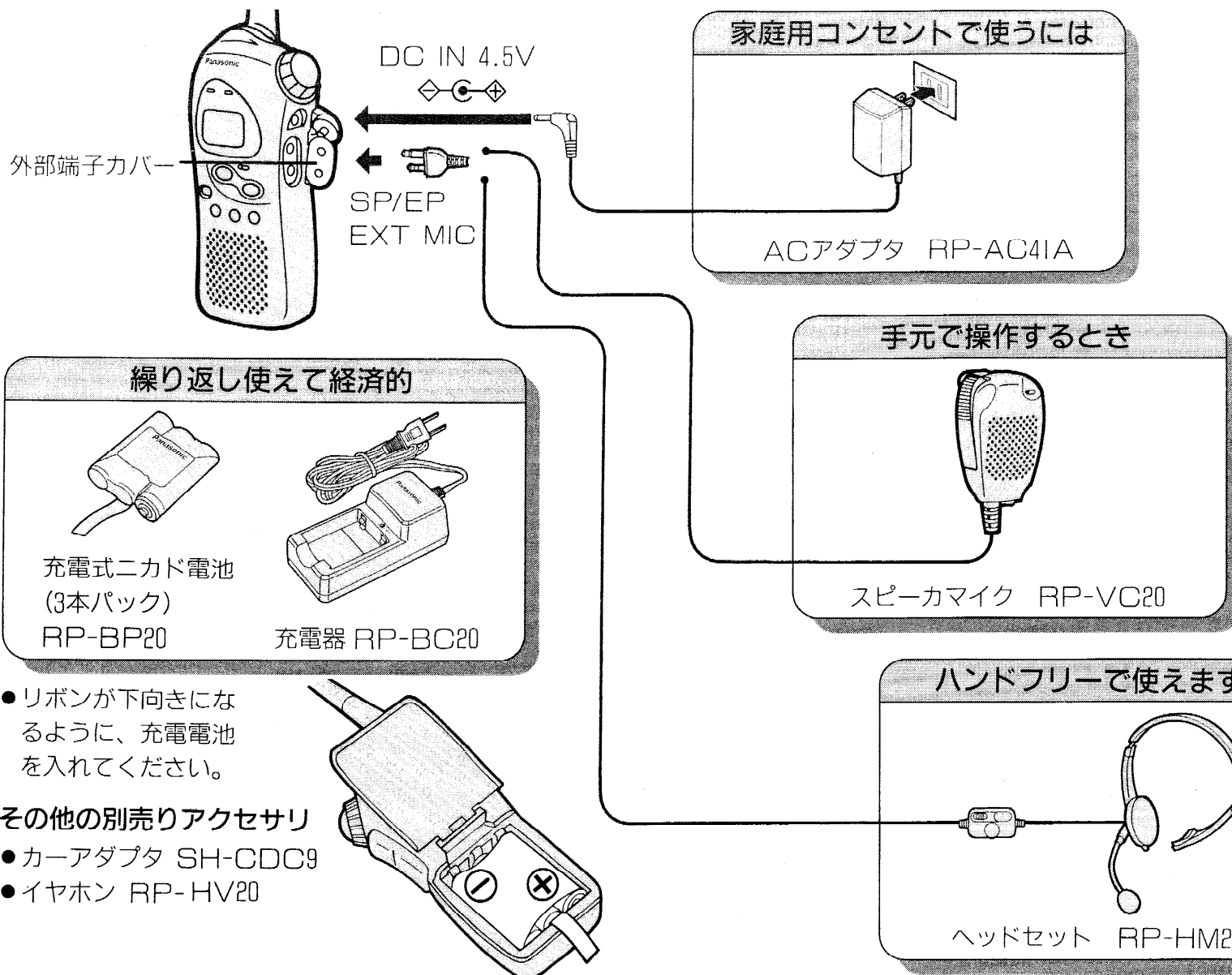
次のような内容は電源を切ったり、電池を取り出していても、覚えています。

- 登録したコールナンバーやメモリー番号の内容
- 最後に使用していた通信モードや、各通信モードで最後に使用していたチャンネルまたはメモリー番号
  （次に電源を入れるとそのチャンネルやメモリー番号が呼び出されます。）
- ホールド、オートオフ機能、シークレット通信のオン/オフの状態

別売りアクセサリ

●リボンが下向きになるように、充電電池を入れてください。

その他の別売りアクセサリ

- カーアダプタ SH-CDC9
- イヤホン RP-HV20

使用上のご注意

- 夏季の閉切った自動車内や暖房器などの近くに放置しないでください。60℃以上の高温になるとキャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。
- 本機は日常生活上の防滴が施されていますが、水の中などには絶対に入れないでください。水滴が付いたときには、必ず乾いた布で十分にふきとってください。（JIS規格防滴Ⅱ型）
- ラジオやテレビの近くでは電波防害を与えたり、受けたりすることがありますので離れて使用してください。

お手入れは

- 柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは水か石鹸水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、化学ぞうきんの説明をご覧ください。

使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

故障!?と思うまえに

修理を依頼する前にもう一度次の表でご確認ください。それでもなお異常のときは、「アフターサービス」の内容にしたがって、お求めの販売店へご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない	●⊕、⊖が正しく入っていますか。 P6 ●電池が消耗していませんか。 P6
通信できない	●チャンネルやコールナンバーが相手と違っていませんか。 ●相手との距離が離れすぎていませんか。
受信できない	●TALKボタンを押していませんか。 ●相手がしゃべっていない。
電源が切れてしまった	●オートオフ機能を使っていませんか。 P23
ボタン操作できない	●ホールド状態になっていませんか。 P7
音声がおかしい	●シークレット通信になっていませんか。 P22

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間――お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障!?と思うまえに」の項にしたがって調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合せください。

定格

電　波　型　式：F3E
送受信周波数：422.2〜422.3MHz(12.5kHzステップ9CH)
周波数安定度：±4ppm(−10℃〜50℃)
電池持続時間：約35時間(別売りパナソニックアルカリ乾電池LR6使用)
約17時間(付属ナショナルネオ《黒》乾電池R6P使用)
約15時間(別売り充電池RP-BP20使用)
(測定条件：送信6秒，受信6秒，待受け48秒)
使用温度範囲：−10℃〜50℃
電　源　電　圧：DC 4.5V(単三形乾電池×3個)
AC 100V，50/60Hz(別売りACアダプタRP-AC41A使用)
DC 12/24V(別売りカーアダプタSH-CDC9使用)
送　信　出　力：10mW
低周波出力：100mW(EIAJ)
受　信　感　度：−9dBμ(12dB SINAD)
最大外形寸法：64(W)×132(H)×47(D)mm
重　　　　量：約224g(乾電池含む)

この定格は性能向上のため変更することがあります。

便利メモ（おぼえのために、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RJ-PX10
販売店名	電話（　　）　－		
お近くのご相談窓口	電話（　　）　－		

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

RQT1649-S F0892N1064